

第 58 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 5 月 11 日(水)午後 10:30~11:30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 5 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、森下憲一、安達克典、吉田光利、

橘智史(途中参加)

欠席委員の氏名 小倉拓

放送事業者側出席者氏名 泉清、安田正、濱田由希子、生田奈穂

リモート参加 安田豊

欠席者氏名 洞周作、角田圭三、大崎健志

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

□番組聴取

4 月 8 日(金)に放送したの特番「4 時スク！春のコラボ祭り～自衛隊の人に聞いてみ隊～」のダイジェストと、5 月 1 日(日)に放送した特番「南紀オレンジサンライズ FC のロッカールーム」のダイジェストを聴取、ご意見・ご感想

- 3) その他番組への質問・意見
- 4) 今後の放送に対する意見・要望
- 5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉： 前回から言いますと弁慶記も始まりまして、営業すれば良いといふものではなく作っていくという大変な作業が社内では大崎を中心にはじめ残すところ 12 話となりましたが頑張って進めているところであります。また野球のシーズンも始まっています。3 月の末ごろから 4 月にかけては和歌山ファイティングバーズを地域の活性化の種として 5 年前から頑張っているわけですけども。その為の野球中継、地元ホームの開幕戦を上富田スポーツセンターでやりました。今回はスポーツナーなしですが今年の一発目としてさせていただきました。FM TANABE としては事業を進めていくための準備をする時期で現在は大変バタバタしております。

2. 議題

～番組聴取～

(4 月 8 日(金)に放送したの特番 「4 時スク！春のコラボ祭り～自衛

隊の人に聞いてみ隊～」のダイジェストについて)

野村：自衛隊についてわたしたちは深く関心を持ってますが、なかなか職業軍人の方と接する機会がありませんので興味深い内容だと思います。

安達：身近な観点から広げていけば、こういった職業も皆やってみたいとか興味を持って若者も増えてくるという、目線的にすごくいいなと思いました。

森下：本校では毎年、複数名自衛隊に入隊させていただいている。そういう意味では、こういう機会で高校生も聴いているのかなと思っています。学校現場は自衛隊との関りは主に防災の観点から学校へ来ていただいてお話をさせていただいたり、日高に駐屯地がありますので体験に行かれるような学校もあります。高校生にとっては職業の選択の 1 つになっている状況ですので、田辺高校の生徒さんも取材してお話を聞くことで自衛隊の方々のお仕事も身近なものに感じる事が出来たのかなと思っています。

吉田：20 年前になるのですが、僕も陸上自衛隊に 2 年間入隊していました、優秀隊員として表彰されたこと也有って良い思い出もたくさんあります。当時は良い意味でも古き良き厳しさがあった時代で

したが、また今とは違う環境になっていると思いますのでこのように現役の隊員さんと OB の人が一緒に番組に出て今と昔の違いをお話するのもおもしろいかもしれませんね。

泉：月に一回自衛官さんが出演してくれているコーナーが開局以来ずっと続いているのですが、言える範囲でおもしろい話もしてくれています。いつも出来るわけではないですが高校生に実態を知つてもらう機会をこれからも作っていきたいと思います。

(5月1日(日)に放送した特番「南紀オレンジサンライズ FC のロッカールーム」のダイジェストについて)

吉田：南紀オレンジサンライズ FC のポスターを何度か見たことがあって、他府県から移住して働きながらサッカーをされているのを知つていいなと思っていました。これから先、田辺の地域で30年後40年後には人口が半分になるのではないかという試算も出ていて、地域の情報とか魅力をどんどん発信するべきだと考えていました。スポーツだったりとかいろんな目線で地域を盛り上げていけたらなと思っていたので、こういう情報をラジオ番組で知れるというのはすごく良いと思ったので、どんどんこういった放送をしていって欲しいです。

森下：ある意味すごく、このクラブチームには期待しています。先ほど吉田さんもおっしゃっていましたが、田辺市の人囗が半分になるということは高校生の数も半分になるであろうと。10年ぐらいあとには子どもの数は3割減る試算も出ています。学校現場の抱える一つの大きな課題として、部活動が立ち行かなくなる可能が出てきています。これからはサッカーだけに限らず地域のクラブチームに頼らざるを得ない状況がひょっとしたら出てくるかもしれません。いろんな事を考えていくと、ゆくゆくは学校の数が減っていくかもしないですし、学校単独でサッカー、部活をやっていくのは困難になるかもしれません。そうなるとこれまで部活動が担っていた役割を地域のクラブチームが担うという時代がそろそろくるのかなと考えています。高校現場では各スポーツの組織がありますので、一般的なクラブチームとの兼ね合いが当然出てくるのですが、そこの規制を取っ払って地域の子どもは地域で育てるという方向が出てこないとも限りません。サッカーにおいては南紀オレンジサンライズ FCには地域の子どもたちがサッカーする受け皿として、さらに発展していただきたいと思っていますので、こういったラジオ番組を通じてPRしていくことは大事な事だと感じました。

安達：オレンジといえば FM TANABE もイメージカラーになってい
るので縁を感じるものがありました。身近にサッカーを経験してい
る人もたくさんいます。たまたま先日和歌山県のサッカー協会の専
務の方とお話する機会がありました、ゆくゆく和歌山と大阪の南の
地域のチームと組んでJリーグを目指したいとおっしゃってました。
そういう意味ではこういった団体がある事によって上に繋がってい
くと思いますし、子どもたちの目標にもなれるので非常に良いこと
だと思っています。

安田豊：高校生と自衛隊の番組もサッカーの番組もそれぞれ地元の
理解とか地元の貢献にもつながるということで、FM TANABE とし
ても出来るだけ応援していきたいと思っていますので引き続きよろ
しくお願ひいたします。

3.その他番組への質問・意見

安達：徐々に観光客も戻りつつあるということも踏まえながら、田辺
にはおいしい食事がたくさんありますので、また高校生とかの目線で
話してくれたらより多くの人に伝わって観光客にも紹介出来るんじ
やないかなと思っております。

吉田：コロナの感染者も人数が減ったり増えたりする中で、ちょっと

ずっと with コロナでこれまでと違う形でも出来ないかということで、地域の事業であったり催し事を発信できるような番組を出来たらいいのかなと思っています。

4.今後の放送に対する意見・要望

特になし

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月 日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし